

令和6年度

沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科

生活造形専攻 工芸専修 入学選抜試験

共通筆答試験（小論文）

試験時間：10：00～12：30

※問題に関する質問にはお答えできません。

【問 題】

工芸技術における「伝統と継承」について、重要無形文化財保持者（各個認定）にも触れながら、自分の考えを述べなさい。

<注意事項>

1. 所定の原稿用紙 3～5 枚（1200 字～2000 字）で記述すること。
2. 記述は所定の時間で行うこと。

令和 6 年度

沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科 生活造形専攻

工芸専修 染研究室 実技試験問題

試験時間 13:30～16:30

配布物 画用紙 1 枚、下書き用紙 2 枚、直定規 50cm、L 型定規、三角定規、
絵皿 3 枚、摺込み用刷毛(3 本)、絵の具(白)、型紙 3 枚(予備 1 枚含)、
デザインナイフ、替刃 30 度、カッターマット、雑巾 1 枚、新聞紙
彩色筆、平筆、カーボン紙、トレーシングペーパー、水差し、墨汁
スポット

使用できるもの 各自で用意した図案用具(鉛筆、消しゴム、マジック類、定規)

***試験開始 30 分までに、監督者に確認してから使用してください。**

注意事項 試験の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと

※問題に関する質問にはお答えできません。

問題

風をテーマに、下記の制作上の注意事項を参照し、配布された型紙2枚を用いて、四つ切り画用紙へステンシルしなさい。

制作上の注意事項

- ① 風をテーマに、2種類の図案(9cm×9cm サイズ)を作成する。
- ② 配布された型紙2枚の中心位置に、9cm×9cm の正方形を鉛筆の線で引く。
*残りの型紙1枚は、予備として使用してもしなくても良い。
- ③ ②の型紙2枚に、①で作成した2種類の図案を9cm×9cm の正方形に写す。
- ④ ③の型紙をカッターマットとデザインナイフを使い、黒で摺り込む場所を切り落とし、2枚の型紙を作成する。
- ⑤ 画用紙は横位置で使用し、9cm 間隔で縦に6本、横に5本の線を鉛筆で引き、9cm×9cm の正方形20マスを、画用紙の中心位置へ作成する。
*画用紙のサイズは約54cm×38cm、左右約4.5cm、上下約1cm あける。
- ⑥ ④で作成した型紙2枚を、⑤の9cm×9cm の正方形に、摺り込み刷毛で墨汁を摺り込む。
*2枚の型紙は10回ずつ使用すること。型紙は自由に配置し、裏面を使用しても良い。また修正の為に、マジック類、絵の具(白)の使用を認めるが、全ての黒をマジックで塗らないこと。
- ⑦ 墨汁が乾いたら、画用紙に引いた鉛筆の線を、消しゴムで消すこと。
- ⑧ 画用紙の裏面右上に、鉛筆で受験番号を記載する。画用紙は横使いである。
- ⑨ 下書き用紙は図案作成のために自由に使用しなさい。または使用しなくても良い。
- ⑩ すべての配布物は、持ち帰らないこと。

令和6年度
沖縄県立芸術大学
大学院造形芸術研究科生活造形専攻
工芸専修 織研究室 実技試験問題

四季をテーマに下記の条件で、壁面装飾布の織物デザインをなさい。

(記)

- 技 法 : 絣を使用する(経緯絣、経絣、緯絣のいずれか一つ)
- 寸 法 : 幅 180cm×長さ240cm (90cm幅の2枚組)
- 色 彩 : 全体図のデザインが分かる様に着色
(縮尺1/10)
- 答案用紙 : B3ケント紙 1枚
- 下書き用紙 : B3方眼紙 2枚
- 実技解答用紙を記入する事

令和6年度
沖縄県立芸術大学
大学院造形芸術研究科生活造形専攻
工芸専修 織研究室 実技試験解答用紙

- 受験生番号：

- 作品名：

- 経糸（素材・番手等）：

- 緯糸（素材・番手等）：

- 作品のコンセプト：

令和6年度
沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科
生活造形専攻 工芸専修 入学者選抜試験
陶磁器研究室 実技試験問題

【問題 1】

試験時間 13:30~14:30

用意された粘土を使用し、指定されたトンボを用いて、
電動轆轤で1時間以内に 碗 を数挽きしなさい。

【問題 2】

試験時間 14:30~16:30

「柔らかいカタチ」を造形しなさい。

また、出題についてどのように考えたか所定の原稿用紙に400字以内で説明をしなさい。

【注意事項・条件】

- ・ 与えられた粘土を使用すること
- ・ **【問題1】【問題2】**ともに準備された道具のみ使用すること
- ・ 提出は碗、立体作品、エスキース（コピー用紙）、制作説明(原稿用紙)
- ・ 作業板の範囲内で制作すること

*問題に関する質問にはお答えできません。